

平成 30 年度

相模原市自治会連合会

定期総会資料



と き 平成 30 年 6 月 2 日 (土)

午後 1 時 30 分

ところ けやき会館 2 階 職員研修所 大研修室

相模原市自治会連合会

平成30年度相模原市自治会連合会定期総会

次 第

- 1 開会のことば
- 2 会長あいさつ
- 3 来賓祝辞
- 4 議長選出
- 5 議事
 - (1) 平成29年度相模原市自治会連合会事業結果報告 (議案第1号)
 - (2) 平成29年度相模原市自治会連合会収支決算報告 (議案第2号)
 - (3) 会計監査報告
- 【役員及び理事紹介】**
- (4) 平成30年度相模原市自治会連合会事業計画(案) (議案第3号)
 - (5) 平成30年度相模原市自治会連合会収支予算(案) (議案第4号)
- 6 議長解任
- 7 閉会のことば

平成29年度相模原市自治会連合会事業結果報告

1 自治会活動展開に向けて

1) 加入促進による自治会組織の強化と活動の促進

自治会の魅力を未加入者の方々に伝えながら、若者を取り込む手段として、自治会員専用割引（J i c h i P a s s）の内容充実に積極的に取組んだ結果、平成29年度の利用実績は28施設合計で2,144件となりました。11月には、神奈川県弁護士会と連携し、会員が気軽に相談できるよう弁護士相談料の割引制度を導入したほか、緑区の健康管理センターさがみはらとの人間ドック利用料の割引やホームタウンチーム4球団との試合観戦料の割引・記念品の提供など、平成30年度からの契約について協議し、合意しました。

さらに不動産団体等を構成員とする自治会加入促進協議会から、ホームページの充実についての提案があり、住所から自治会を検索する際に、自治会費についても確認できるシステムを構築したほか、橋本地区をモデルとして実施したPTA役員の自治会に対する意識調査のためのアンケート結果について検討を行い、結果を、自治会活動の手引き等に掲載することとしました。

また、総務部会において、自治会加入促進や地域の防災対策を目的として、自治会加入世帯証（シール）の作成を行い、自治会加入の全世帯に配布を行いました。

高齢者の退会が増加傾向にあることなどから、会員数は微減し、残念ながら加入率は低下傾向となっておりますが、今後も加入促進策や自治会退会者防止策について、引き続き検討・実施してまいります。

2) 政策提言と協働への取り組み強化

平成29年10月に、市全体に係る課題5項目を取りまとめ、「政策要望書」を市へ提出いたしました。なお、過年度の要望を含め実現した項目として、平成29年4月から、交通事故の発生状況（日時・場所・事故の種類と内容）を表示したマップの市ホームページでの公開や市自治会連合会ホームページとのリンクなどのほか、自治会活動をはじめとした地域活動へのポイント付与により、新たな担い手の確保や活動の活性化を図る地域活動ポイント制度についても、平成30年7月から運用が開始されることとなりました。

自転車保険の加入促進の取り組みについては、防災安全部会にて神奈川県自転車商協同組合と自治会員専用割引を活用したTSマーク付帯保険点検費用の割引について交渉を進めており、平成30年度も引き続き実現に向けた取組を進めてまいります。

3) 的確な情報発信と地区におけるホームページの有効活用

平成27年度にリニューアルを行ったホームページの運用開始から約2年が経過した本年度は、年間で57,924件と多くの方に閲覧いただきました。22地区自治会連合会による情報の更新についても積極的に行い、22地区合計で年間368件の記事が掲載されました。

また、自治会回覧板については、平成29年度は作成を見送ることとし、平成30年度に改めて検討することといたしました。

4) まちづくり会議の主導と各種審議会における参画

まちづくり会議・区民会議には地区自治会連合会役員等が委員として就任し、自治会が進める安全・安心なまちづくりの課題を必要に応じて提起し、地域づくりへの一定の成果を見ております。

また市の行政施策の方向付けを行う各種の審議会・協議会についても、理事が委員として就任し、住民生活に直結する事項について、自治会の意向が反映されるよう活動してまいりました。

5) 自治会大会など会員の交流促進と効果的な研修実施

平成29年度は自治会大会で第1部に祝賀演奏として神奈川県立弥栄高等学校吹奏楽部の大迫力の演奏を披露いただき、第2部に地域活動功労者感謝状贈呈式を行った結果、1,200席の会場を満席とする程の来場者数を記録しました。市長をはじめ、国・県・市議会議員のほか、多くのご来賓の皆様のご臨席のもと、個人114名・8団体・退任理事6名に長年の活動に対する感謝状を贈呈いたしました。

新任自治会長研修会は6会場197名の新任自治会長の参加のもと、地域の課題や自治会長としての心構え等について活発なグループ討議が行われました。会長として参考となる事例や今後の自治会活動における課題の共有化を図るなど、研修会の目的が達せられました。

6) ホームタウン4球団への支援

ホームタウンチームであるサッカー「SC相模原」、アメリカンフットボール「ノジマ相模原ライズ」、ラグビー「三菱重工相模原ダイナボアーズ」、女子サッカー「ノジマステラ神奈川相模原」の試合等に対し、引き続きポスターの掲示や試合日程の回覧などによる支援を行いました。

2 安心・安全なまちづくりに向けて

1) 防犯協会・交通安全協会などとの連携した地域づくり

相模原市では、平成29年中に2,770件の人身交通事故が発生していますが、そのうちの860件が自転車事故で、県内でも多い発生件数となっています。緑区については、「交通事故多発区域」が解除されたものの、中央区、南区は依然として指定がされています。前述のとおり、平成28年度に提出した政策要望のうち、「交通事故発生箇所MAP」については、平成29年4月12日より市ホームページ上での運用を開始しており、市自治会連合会ホームページにおいてもリンクを貼る等、事故の発生場所等を具体的に住民に知らせることによる事故防止対策として積極的な活用を図ってまいります。

さらに各地区・自治会での防犯・安全安心まちづくりキャンペーンやパトロールなどは、防犯協会・交通安全協会などと連携して、地区の実態に合わせた取り組みが行われ、各単位自治会による日常的な防犯・交通安全パトロールについても、徐々に広がりを見せています。

2) 地区防災計画の策定と減災対策の取り組み

「地区防災計画」は「相模原市地域防災計画」に正式に位置づけられ、今後見直しが想定されるものの、計画策定が完了し、会員への周知の取り組みが行われております。

また防災・減災対策について会員に対する「自助」「近助」「共助」の理解促進の

啓発とともに、地区ごとに課題を整理し減災に向けた組織の見直しや、防災に関する学習会・訓練などが実施されています。

3) 防犯カメラ設置促進と効果ある運用研究

平成29年度は、市内22の自治会で38台の防犯カメラが設置されました。

防犯カメラについては、犯罪抑止効果が実証されており、「相模原市防犯カメラの設置及び運用に関するガイドライン」に基づき、子どもや女性が犯罪に巻き込まれやすい危険箇所への設置が進められているものの、設置場所や関係組織等との調整の煩わしさの解消や、地元の意向に沿った設置ができるよう、引き続き市に要望し協議を進めてまいります。

3 会員の生活支援と環境を守る活動に向けて

1) 地球温暖化防止をはじめとした地域の環境を守る活動

5月30日のゴミゼロの日などの地域清掃やゴミ集積所の管理については単位自治会による地域の実態に応じた取り組みが引き続き行われました。平成28年10月より一般ゴミの回収が週3回から2回となり、ゴミの分別促進活動が進められたことにより、平成28年10月から平成29年9月末までの収集量は前年同時期と比較して一般ゴミを4.0%減量させることができました。さらに資源としての容器包装プラについては7.4%の収集量の増加が市の統計で示され、市民のゴミの分別に対する意識が一層高まっています。

また、地球温暖化防止対策は、さがみはら地球温暖化対策協議会と連携し、地域や自治会員が取り組める温暖化防止の事例として太陽光発電システムについての出前講座が実施されました。

2) 基地返還・リニア中央新幹線開業を前提とするまちづくりへの参画

相模総合補給廠返還跡地活用については、東西道路の工事が完了し、3月に供用開始されたほか、リニア中央新幹線についても工事着手に向けた準備が進むなど、首都圏南西部の広域交流拠点都市としてのまちづくりが動き始め、橋本・相模原駅周辺を中心に自治会の果たす役割が期待されております。

また米軍基地（キャンプ座間・相模総合補給廠・相模原住宅地区）による交通路の分断・騒音被害などの解消に対し、相模原市米軍基地返還促進等市民協議会の活動に参画することで対策に取り組みました。

3) 高齢者支援をはじめとする会員福祉対策

社会福祉協議会と連携し、自治会・地区連の実態に対応した高齢者の見守りなどの取り組みが広がってはおりますが、介護保険の制度改正などが行われる中で、引き続き行政や社会福祉協議会などとの連携構築を進めなければならない状況にあります。

4) 子ども会組織の再構築

子ども会組織や地区子ども会育成協議会については、自治会として地区において必要組織との位置づけはなされているものの、市子ども会との意見交換には残念ながら至っておらず、本年度も引き続き検討すべき課題として残されました。

5) 青少年健全育成への支援

登下校時の児童の見守り・いじめや児童虐待の防止などの青少年対策は、自治会活動として定着してはおりますが、自治会の地域全体に対する貢献活動として認識

しない父兄も見られるなど、地域・学校・行政が一体となって活動の成果として、自治会の存在の理解促進を進めることが課題となっています。

6) 小田急多摩線延伸と新交通システムの実現促進

平成29年4月7日の「交通政策審議会」答申案で示された小田急多摩線延伸の記述は、相模線上溝駅までの延伸が明記され、以西については「関係地方公共団体において更なる延伸を検討する場合には、本区間の整備の進捗状況を踏まえつつ行うことが適当である」との二段書きとなりました。また、相模線の輸送サービスの改善に対するプロジェクトについて、関係地方公共団体・鉄道事業者等において検討が進められることを期待するとの表記となっています。

また相模大野を起点とする新交通システムは、連結バスによる整備が計画としてまとめ、橋本・相模原・相模大野を有機的に連携させたこれからは、計画の実現の段階に入り、市民が望むまちづくりが進むよう自治会からの提言も行っております。

政 策 要 望

平成28年度までに要望申し上げ、現在迄に方針が示されていない項目については引き続き取組みを願うとともに、安全な市民生活・地域の活性化に直結する次の項目について、平成30年度において取組みを願いたい。

1 地域活動の活性化

(1) 自治会員へのメリット付与について

自治会においては、加入者数の減少に伴い、活動の中心となる役員の高齢化や、担い手となる人材の確保などが喫緊の課題となっております。そのため、活動への参加のメリット付与として、地域活動ポイント制度等を創設することにより、新たな担い手の拡充や活動の活性化を図ることが出来ると考えます。また、地域の防犯活動や児童の見守り活動、避難所運営活動の充実や継続に向けても有効なものではないかと考えています。相模原市市民協働推進条例においては、市民の役割として地域活動の推進に努めることがうたわれており、市と市自治会連合会における連携基本協定も締結していることから、その効果をより確実なものにするために、市として地域活動に対するポイント制度の導入について取組みをして頂きたい。

併せて市の公共施設の利用料金等について、自治会員への大幅な割引を検討して頂きたい。

2 安全・安心のまちづくり

(1) 相模原南警察署の移転について

南区にある相模原南警察署は市内最大の管轄人口を抱える警察署となっておりますが、交通の便が悪く、施設の老朽化が進んでおり、警察機能への影響などから、移転・新設を望む声が大きくあります。相模原南警察署については、神奈川県高相合同庁舎への移転・新設により、市民の利便性が高まるとともに、近接する区役所や消防署との連携による交通、防犯対策が進むものと考えられます。市民の安全・安心な生活環境を守る上でも、市として県に強力に働きかけていただきたい。

(2) 危機事象への対応について

近年、弾道ミサイル発射実験をはじめ、風水害、地震などの自然災害及びテロ、重篤な感染症など市民に重大な被害を及ぼす恐れのある危機事象は多様化しております。既に市議会でも質問等がされておりますが、そのような危機事象が発生した場合に、相模原市の対応方針について伺いたい。

(3) 補助金制度について

相模原市は「犯罪・交通事故」発生件数が県内でも非常に多い地域であり、対策を強化しなくてはなりません。地区自治会連合会・単位自治会と連携し、青色パトロール車を使ったパトロール活動の実施をしておりますが、青色パトロール車の経費については、現在、補助金等の制度がないため、地域活性化事業交付金等を活用している状況です。市民の安全・安心を守るパトロール活動を継続・充実させるために、市安全・安心まちづくり推進協議会等からの補助金制度を創設して頂きたい。

また、自主防災組織や避難所運営協議会等への活動事業費補助金の申請手続きの添付書類が煩雑であるなどの課題も見受けられます。手続き添付書類の簡素化を図るなど、当該補助制度の申請手続きの簡素化などの見直しを行って頂きたい。

(4) ひばり放送について

相模原市の広域放送である「ひばり放送」について、屋外スピーカーの増設や向き、音量の調節などについて工夫していただいていることは承知しております。

また、アナウンスに当たっては、一案件につき一度のルールがあると伺っておりますが、行方不明者等については、ルールに縛られない柔軟な対応をして頂きたい。

4月1日 ～2日	自治会加入促進活動 第44回市民桜まつりで、自治会加入促進活動（パンフレット・グッズ配布、活動紹介写真展示及び自治会加入促進パレード）を行った。
4月7日	4月役員会の開催 （出席6名） 理事会提出議案の審議
4月12日	4月理事会の開催 （出席21名） (1) 行政からの依頼事項（7件） (2) その他団体等からの依頼事項（2件） 以上について依頼を受けた。 (3) 審議会等委員の推薦について（さがみはら地球温暖化対策協議会広報部会副部長） (4) 平成29年度定期総会・レセプションについて (5) 平成28年度事業結果報告（案）及び収支決算報告（案）について (6) 平成29年度事業計画（案）及び収支予算（案）について (7) 平成29年度新任自治会長研修会について (8) 非常勤職員の賃金改定について (9) 自治会加入促進キャンペーンに係る横断幕の設置について 以上について審議し承認及び決定した。
5月12日	5月新旧役員会の開催 （出席11名） 理事会提出議案の審議
5月17日	5月理事会の開催 （出席21名） (1) 行政からの依頼事項（4件） (2) その他団体等からの依頼事項（2件） 以上について依頼を受けた。 (3) 審議会等委員の推薦について （情報公開・個人情報保護・公文書管理審議会委員、シティセールス推進協議会委員、経営評価委員会委員、防災会議委員、国民保護協議会委員、廃棄物減量等推進審議会委員、廃棄物減量等推進審議会公募委員選考委員、廃棄物減量等代表推進員、社会を明るくする運動推進委員会委員、さがみはら文化振興懇話会委員、市民文化財団評議員） (4) 平成29年度定期総会・レセプションについて (5) 平成29年度新任自治会長研修会について (6) 平成29年度自治会大会について (7) 理事視察研修会について (8) 市連見舞金等規程の変更(案)について

	(9) 地縁による団体功労者総務大臣表彰候補者選考基準について 以上について審議し承認及び決定した。
5月26日	6月役員会の開催 （出席6名） 理事会提出議案の審議
6月3日	6月理事会の開催 （出席21名） (1) 行政からの依頼事項（2件） (2) その他団体等からの依頼事項（4件） 以上について依頼を受けた。 (3) 平成29年度定期総会・レセプションについて ア 定期総会議事進行等について イ 定期総会座席表について ウ レセプション進行について エ レセプション会場図について (4) 平成29年度新任自治会長研修会について (5) 平成29年度自治会大会について (6) 平成29年度加入世帯数、奨励金及び分担金について (7) 政策要望について 以上について審議し承認及び決定した。
6月3日	平成29年度相模原市自治会連合会定期総会の開催 会 場 けやき会館2階 職員研修所大研修室 出席者 来賓 相模原市長、相模原市議会議長ほか10名 理事21名 委員83名(ほか委任状提出者26名) 議 題 (1) 平成28年度相模原市自治会連合会事業結果報告 (2) 平成28年度相模原市自治会連合会収支決算報告 (3) 会計監査報告 (4) 平成29年度相模原市自治会連合会事業計画(案) (5) 平成29年度相模原市自治会連合会収支予算(案) 以上について審議し承認及び決定した。 定期総会終了後、レセプションを開催した。 会 場 けやき会館5階 大樹の間
6月10日	新任自治会長研修会（南区）の開催 会 場：南区合同庁舎3階 講堂 参加者：64名
6月11日	新任自治会長研修会（中央区）の開催

	<p>会 場：けやき会館 2階 職員研修所大研修室 参加者：69名</p>																																												
6月17日	<p>新任自治会長研修会（緑区）の開催 会 場：津久井総合事務所 3階 第1・第2会議室 参加者：33名</p>																																												
6月17日	<p>新任自治会長研修会（緑区）の開催 会 場：緑区合同庁舎 4階 集団指導室 参加者：31名</p>																																												
6月27日	<p>八戸市連合町内会連絡協議会役員の視察来会 役員が出席し、意見交換等を行った</p>																																												
7月7日	<p>7月役員会の開催（出席7名） 理事会提出議案の審議</p>																																												
7月8日	<p>平成29年度自治会大会の開催 大会スローガン『つくりだそう 自治の力で 明るいまちを』 会 場 相模原市民会館ホール 出席者 来賓 相模原市長、相模原市議会議長ほか 理事、自治会役員、会員等 合計1,100名</p> <p>【第一部】 祝賀演奏 神奈川県立弥栄高等学校吹奏楽部 【第二部】 地域活動功労者表彰 被顕彰者 個人114名 団体8団体 退任理事6名</p> <p>【地域活動功労者顕彰・個人】 (敬称及び外字略)</p> <table> <tr> <td>(小山地区)</td> <td>堀田 重光</td> <td>中田 和彦</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(清新地区)</td> <td>柴田 文夫</td> <td>矢吹 和男</td> <td>本田 充樹</td> </tr> <tr> <td></td> <td>丹波 晴道</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(中央地区)</td> <td>柏 信</td> <td>大河内 誠次</td> <td>石垣 健</td> </tr> <tr> <td></td> <td>加川 純一</td> <td>菅澤 安師</td> <td>田坂 正子</td> </tr> <tr> <td></td> <td>江原 民義</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(星が丘地区)</td> <td>高橋 清</td> <td>長塚 勇一郎</td> <td>齋藤 敬</td> </tr> <tr> <td>(光が丘地区)</td> <td>安藤 浩秋</td> <td>深瀬 博司</td> <td>駒村 秀則</td> </tr> <tr> <td></td> <td>青木 進一</td> <td>錦織 伸一</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(橋本地区)</td> <td>橋本 勝</td> <td>米澤 弘二</td> <td>稲田 隆</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鈴木 勇</td> <td>加藤 厚</td> <td>石井 光和</td> </tr> </table>	(小山地区)	堀田 重光	中田 和彦		(清新地区)	柴田 文夫	矢吹 和男	本田 充樹		丹波 晴道			(中央地区)	柏 信	大河内 誠次	石垣 健		加川 純一	菅澤 安師	田坂 正子		江原 民義			(星が丘地区)	高橋 清	長塚 勇一郎	齋藤 敬	(光が丘地区)	安藤 浩秋	深瀬 博司	駒村 秀則		青木 進一	錦織 伸一		(橋本地区)	橋本 勝	米澤 弘二	稲田 隆		鈴木 勇	加藤 厚	石井 光和
(小山地区)	堀田 重光	中田 和彦																																											
(清新地区)	柴田 文夫	矢吹 和男	本田 充樹																																										
	丹波 晴道																																												
(中央地区)	柏 信	大河内 誠次	石垣 健																																										
	加川 純一	菅澤 安師	田坂 正子																																										
	江原 民義																																												
(星が丘地区)	高橋 清	長塚 勇一郎	齋藤 敬																																										
(光が丘地区)	安藤 浩秋	深瀬 博司	駒村 秀則																																										
	青木 進一	錦織 伸一																																											
(橋本地区)	橋本 勝	米澤 弘二	稲田 隆																																										
	鈴木 勇	加藤 厚	石井 光和																																										

(大野北地区)	鈴木 進 宮崎 幸男 石井 信行 小林 良則	小西 正敏 金井 敏恵 五十嵐 啓 鈴木 邦宏	松木 和枝 大石 清 梶本 満
(大野中地区)	村越 あゆみ 細谷 勝利 田中 勝二	古川 康幸 中島 英一	中嶋 秋次 中村 久江
(大野南地区)	嶋野 龍平 片岡 紘一 榎本 勲	清水 義晴 里見 鐵夫	大野 晃一 渋谷 和美
(大沢地区)	山崎 弘	島田 辰夫	内山 繁多
(田名地区)	大谷 政道 木島 保壽	松上 秀一	江成 洋
(上溝地区)	門倉 輝二 石森 隆男	石原 秀雄	倉橋 強治
(麻溝地区)	政木 清 遠藤 文雄	伊藤 英見 福田 実	江成 博
(新磯地区)	吉田 武志 川崎 喜代治	米田 勝 中村 大義	宮川 好伸
(相模台地区)	岡 卓 前田 誠一 荒井 誠一郎	神田 修 小汲 信道 鈴木 トキ子	古川 正修 白田 行代 生野 幸子
(相武台地区)	鳴島 昇	宮永 公一	藤内 和子
(東林地区)	蔵元 義弘 吉村 建志	藤平 昭 加藤 治雄	吉原 幹生
(城山地区)	小室 博 鈴木 史郎	安田 修	八木 隆子
(津久井地区)	平本 武夫 林 隆 熊谷 弘	西丸 三千則 仙頭 武文 栞谷 泰之	八木 利夫 武内 進
(相模湖地区)	清水 恒典 榎本 昭雄	山下 廣昭 石井 冬樹	長谷川 澄夫
(藤野地区)	鈴木 博 森久保 利夫 井上 一郎	大平 二三男 阿部 紀元	東 眞司 佐藤 隆秀

【地域活動功労者顕彰・団体】

相模線桜並木保存実行委員会（清新地区）

加藤原自治会自主防犯パトロール隊（横山地区）

西大沼中央自治会（大野中地区）
自治会法人豊町自治会（大野南地区）
鳩川自治会（上溝地区）
豊原自治会（相模台地区）
長竹災害時支援隊（津久井地区）
和田跡取り会（藤野地区）

【退任理事】（敬称略）

田所 昌訓（田名地区）
平林 清（光が丘地区）
澤塚 正史（相模湖地区）
金子 匡甫（東林地区）
小林 茂裕（横山地区）
佐藤 あつ子（相武台地区）

7月12日

7月理事会の開催（出席22名）

- (1) 行政からの依頼事項（9件）
- (2) その他団体等からの依頼事項（6件）
以上について依頼等を受けた。
- (3) 宇都宮市自治会連合会の視察受入れについて
- (4) 平成29年度自治会掲示板について
- (5) 平成29年度理事視察研修会について
- (6) 政策要望について
- (7) 総務部会での検討結果について
以上について審議し承認及び決定した。

7月28日

8月役員会の開催（出席7名）

理事会提出議案の審議

8月9日

8月理事会の開催（出席20名）

- (1) 行政からの依頼事項（8件）
- (2) その他団体等からの依頼事項（3件）
以上について依頼を受けた。
- (3) 平成29年度理事視察研修会について
- (4) 政策要望について
- (5) 市連創立50周年記念事業について
以上について審議し承認及び決定した。

9月1日	<p>9月役員会の開催（出席7名） 理事会提出議案の審議</p>
9月6日	<p>9月理事会の開催（出席21名）</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 行政からの依頼事項（1件） (2) その他団体等からの依頼事項（2件） 以上について依頼を受けた (3) 審議会等委員の推薦について（新規） （協働マニュアル検討ワーキングメンバー・有害鳥獣対策協議会委員） (4) さいたま市大宮区自治会連合会の視察受入れについて (5) 平成29年度理事視察研修会について (6) 政策要望について (7) 北里大学東病院人間ドック事業終了に伴う自治会回覧板の広告について 以上について審議し承認及び決定した。
9月25日 ～9月26日	<p>理事視察研修会の実施 視察先 静岡県浜松市 参加理事 20名</p>
10月5日	<p>第1回相模原市自治会加入推進協議会</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 相模原市自治会加入推進協議会会則について (2) 自治会加入促進活動について <ol style="list-style-type: none"> ア 活動の経過と継続的な取組みについて イ 相模原市自治会連合会ホームページのリニューアルについて ウ 橋本地区モデル（旭小・旭中）PTAへのアンケート結果について 以上について協議した。
10月6日	<p>10月役員会の開催（出席7名） 理事会提出議案の審議</p>
10月11日	<p>10月理事会の開催（出席20名）</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 行政からの依頼事項（8件） (2) その他団体等からの依頼事項（2件） 以上について依頼を受けた (3) 自治会掲示板の各地区交付申請状況について (4) 自治会活動功労者（市長感謝状受賞者）の各地区推薦結果について (5) 総務部会の検討結果（加入者向けシールほか）について (6) 広報部会の検討結果（自治会回覧板）について

	(7) 自治会加入推進協議会結果について 以上について審議し承認及び決定した。
10月15日	自治会加入促進活動 第5回ユニコムプラザまちづくりフェスタで、自治会加入促進活動（加入促進パンフレット・グッズ配布等）を行った。
10月18日	宇都宮市自治会連合会の視察来会 役員が出席し、意見交換等を行った。
10月31日	政策要望書の提出 会 場 応接室2 出席者 相模原市 加山市長、古賀副市長等 市連 役員6名 要望内容 1 地域活動の活性化 （1）自治会員へのメリット付与について 2 安全・安心のまちづくり （1）相模原南警察署の移転について （2）危機事象への対応について （3）補助金制度について （4）ひばり放送について
11月1日	自治会報（第71号）発行 加入全世帯（約18万世帯）を対象に配布した。
11月8日	さいたま市大宮区自治会連合会の視察来会 役員が出席し、意見交換等を行った。
11月10日	11月役員会の開催（出席6名） 理事会提出議案の審議
11月12日	自治会加入促進活動 さがみはら市民活動フェスタ2017で、自治会加入促進活動（加入促進パンフレット・グッズ配布等）を行った。
11月15日	11月理事会の開催（出席19名） （1）行政からの依頼事項（8件）

	<p>以上について依頼を受けた。</p> <p>(2) 平成 30 年度役員会・理事会の日程（案）について</p> <p>(3) 平成 30 年賀詞交換会について</p> <p>(4) 平成 29 年度区長と地区連会長・副会長との懇談会について</p> <p>(5) 回覧板在庫分の取扱いについて</p> <p>(6) 個人情報保護法の改正と取扱いの留意点について</p> <p>(7) 弁護士会との自治会員専用割引契約の内容及び周知の方法について</p> <p>(8) 防災安全部会の検討結果（地域情報紙掲載等）について</p> <p>(9) 総務部会の検討結果（自治会活動事例紹介等）について</p> <p>(10) 市連創立 50 周年記念事業について</p> <p>以上について審議し承認及び決定した。</p>
12 月 1 日	<p>12 月役員会の開催（出席 7 名）</p> <p>理事会提出議案の審議</p>
12 月 6 日	<p>12 月理事会の開催（出席 22 名）</p> <p>(1) 行政からの依頼事項（5 件）</p> <p>(2) その他団体等からの依頼事項（4 件）</p> <p>以上について依頼を受けた。</p> <p>(3) 平成 29 年度（3 月中旬～）自治会加入促進キャンペーンについて</p> <p>(4) 第 45 回市民桜まつりにおける行事ブースの出展について</p> <p>(5) 平成 30 年度自治会役員名簿等の提出について</p> <p>以上について審議し承認及び決定した。</p>
1 月 12 日	<p>1 月役員会の開催（出席 6 名）</p> <p>理事会提出議案の審議</p>
1 月 17 日	<p>1 月理事会の開催（出席 22 名）</p> <p>(1) 行政からの依頼事項（6 件）</p> <p>(2) その他団体等からの依頼事項（6 件）</p> <p>以上について依頼を受けた。</p> <p>(3) 市民桜まつりにおける自治会加入促進キャンペーンについて</p> <p>(4) 広報部会検討結果について</p> <p>(5) 市連創立 50 周年記念事業収支予算（案）について</p> <p>(6) 市連創立 50 周年記念平成 30 年度自治会大会（案）について</p> <p>(7) 総務部会検討結果について</p> <p>(8) 自治会加入促進グッズ（案）について</p> <p>(9) 自治会員専用割引契約について（ホームタウンチーム）</p> <p>(10) 市民・大学交流センター地域情報コーナーの利用申請について</p>

以上について審議し承認及び決定した。

1月25日

第2回相模原市自治会加入推進協議会

(1) 自治会加入促進活動について

ア 協議会からの提案事項に対する取組状況について

イ 市自治会連合会の取組について

1月27日

相模原市自治会活動功労者感謝状(相模原市長感謝状)贈呈式

地域活動を積極的に行い、住民福祉の向上と明るいまちづくりに貢献していただいた、次の79名の方が市長から自治会活動功労者感謝状を授与された。

(敬称及び外字略)

(橋本地区)	森田 喜昭	大貫 薫	三井 明好
	加藤 厚	原 保	原 英夫
(城山地区)	大参 正人		
(津久井地区)	林 隆	下菌 克秀	小室 誠
	廣瀬 市郎		
(相模湖地区)	清水 恒典	石井 冬樹	久保 芳夫
	岩田 正	山下 廣昭	長谷川 澄夫
(藤野地区)	鈴木 博	東 眞司	井上 一郎
(小山地区)	入谷 利郎	五十嵐 秋夫	村西 弘明
(清新地区)	早川 久子	山本 直高	伊藤 照夫
(横山地区)	櫻井 勝正	田口 優美	
(中央地区)	中村 時男	石田 健二	柏 信
	中村 隆	石垣 健	渡邊 博
(星が丘地区)	高橋 清		
(光が丘地区)	山澤 忠治	割柏 秀規	南 雄二
(大野北地区)	岡本 誠	杉岡 彰仁	佐藤 和雄
	熊田 誠	大津 正夫	宮崎 幸男
	井上 賢一	黒田 久也	
(上溝地区)	松下 利男	根岸 利昌	鈴木 勇次
(大野中地区)	中村 クミコ	細谷 君雄	太田 明
	平野 大介	飯村 彰	篠田 成次
	海老沼 正二		
(大野南地区)	清水 義晴	大野 晃一	石崎 幹枝
	里見 鐵夫	嶋野 龍平	
(麻溝地区)	小泉 喜義	境 勉	座間 澄雄
	白石 武	岸 惣司	
(新磯地区)	宮川 好伸		

	<p>(相模台地区) 長澤 正孝 太田 瑛子 田澤 京子 松崎 信彦 生野 幸子 藤村 光 佐藤 千代子 松浦 毅</p> <p>(相武台地区) 保土沢 忠志</p> <p>(東林地区) 佐川 由美子 黒子 信雄 安井 滋</p>
2月2日	<p>2月役員会の開催 (出席7名) 理事会提出議案の審議</p>
2月7日	<p>2月理事会の開催 (出席22名)</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 行政からの依頼事項 (5件) (2) その他団体等からの依頼事項 (3件) 以上について依頼を受けた。 (3) 平成30年度役員会・理事会等日程の一部変更について (4) 審議会等委員の推薦について (市民平和のつどい実行委員会委員) (5) 平成30年度部会構成 (案) について (6) 平成30年度事業計画 (案) について (7) 市連創立50周年記念協賛金趣意書について 以上について審議し承認及び決定した。
3月1日	<p>自治会報 (第72号) 発行 加入全世帯 (約18万世帯) を対象に配布した。</p>
3月2日	<p>3月役員会の開催 (出席5名) 理事会提出議案の審議</p>
3月7日	<p>3月理事会の開催 (出席22名)</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 行政からの依頼事項 (8件) (2) その他団体等からの依頼事項 (4件) 以上について依頼を受けた。 (3) 審議会等委員の推薦について (地域福祉推進協議会委員、障害者差別解消支援地域協議会委員、 自殺対策協議会委員、地域包括支援センター運営協議会委員、 地域ケア推進会議委員、高齢者・障害者虐待防止ネットワーク協議会委員) (4) 平成30年度事業計画 (案) について (5) 平成29年度決算 (見込) 及び平成30年度予算 (案) について (6) 総務部会検討結果について (自治会手帳・記念誌・協賛金趣意書) (7) 火災対策に関する自治会長へのアンケートの実施について (8) 市連創立50周年記念事業について (自治会大会ポスター・記念祝賀

<p>3月26日</p>	<p>会)</p> <p>(9) 第45回相模原市民桜まつり自治会加入促進キャンペーンについて</p> <p>(10) 自治会員専用割引 (J i c h i P a s s) の再発行について</p> <p>以上について審議し承認及び決定した。</p> <p>自治会加入促進キャンペーンの実施</p> <p>相模原市との協働により、市自治会連合会理事、地域活力推進員及び市職員等が、市役所本庁舎及び中央区役所において、転入者等に対して加入促進活動を行った。</p> <p>相模原市印刷広告協同組合及び相模原事務用品協同組合のご協力により加入促進グッズを作成・配布した。</p>
--------------	--

平成 29 年度部会等開催結果

【総務部会】

6 月 14 日	<p>第 1 回部会開催</p> <p>(1) 平成 29 年度総務部会の構成について</p> <p>(2) 総務部会における協議・検討事項について</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 自治会手帳の発行について</p> <p style="padding-left: 20px;">イ 自治会加入と子どもに関するアンケート実施結果の検証について</p> <p style="padding-left: 20px;">ウ 加入者向けシールについて</p> <p style="padding-left: 20px;">エ 地縁による団体功労者総務大臣表彰候補者選考基準について</p> <p style="padding-left: 20px;">オ 自治会費の住民税控除について</p> <p>(3) 自治会加入促進策及び自治会退会防止策の研究について</p>
8 月 9 日	<p>第 2 回部会開催</p> <p>(1) 自治会手帳の発行・配布の検討について</p> <p>(2) 加入者向けシールについて</p> <p>(3) 自治会加入と子どもに関するアンケート実施結果の検証について</p>
10 月 17 日	<p>第 3 回部会開催</p> <p>(1) 自治会加入と子どもに関するアンケート実施結果の検証について</p> <p>(2) 新規自治会加入促進チラシの作成について</p> <p>(3) 相模原市自治会連合会創立 50 周年事業について</p>
12 月 11 日	<p>第 4 回部会開催</p> <p>(1) 新規自治会加入促進チラシの作成について</p> <p>(2) 相模原市自治会連合会創立 50 周年記念誌について</p>
2 月 20 日	<p>第 5 回部会開催</p> <p>(1) 平成 31 年版自治会手帳について</p> <p>(2) 市連創立 50 周年記念誌について</p>

【平成 29 年度総務部会員】

部 会 長	竹田 幹夫	市連理事	(星が丘地区)
副部会長	大木 恵	市連理事	(大野南地区)
副部会長	中山 光明	市連理事	(大 沢地区)
副部会長	小林 充明	市連理事	(上 溝地区)
副部会長	落合 勝司	市連理事	(津久井地区)
部 会 員	大参 正人	市連委員	(城 山地区)
部 会 員	長谷川 兌	市連委員	(相模湖地区)
部 会 員	渡 静夫	市連委員	(小 山地区)
部 会 員	茅 祐司	市連委員	(横 山地区)
部 会 員	山口 信郎	市連委員	(大野北地区)
部 会 員	川手 稔	市連委員	(大野中地区)
部 会 員	大上 和夫	市連委員	(相武台地区)

【広報部会】

7月20日	第1回部会開催 (1) 部会員の構成について (2) 平成29年度広報部会計画について ア 「自治会報さがみはら」の発行 イ 相模原市自治会連合会ホームページの活用・機能強化 ウ 自治会員専用割引（J i c h i P a s s）の発行 (3) 部会に関連する予算について (4) 相模原市自治会連合会ホームページについて (5) 自治会回覧板について
8月4日	第2回部会開催 (1) 相模原市自治会連合会ホームページの修正について (2) 「自治会報さがみはら」について ア 発行スケジュールについて イ 掲載記事・レイアウトについて ウ 各地区への原稿依頼について
9月7日	第3回部会開催 (1) 「自治会報さがみはら」について ア 発行スケジュールについて イ レイアウトについて ウ 掲載記事について
10月4日	第4回部会開催 (1) 「自治会報さがみはら」について ア 発行スケジュールについて イ 校正原稿の確認について (2) 市連ホームページについて (3) 回覧板について
11月1日	自治会報さがみはら第71号発行（会員全世界配布）
12月6日	第5回部会開催 (1) 「自治会報さがみはらNo.72」について ア 発行スケジュールについて イ 掲載記事・レイアウトについて ウ 各地区への原稿依頼について
1月9日	第6回部会開催 (1) 「自治会報さがみはらNo.72」について ア 発行スケジュールについて イ レイアウトについて ウ 掲載記事について

<p>2月5日</p> <p>3月1日</p>	<p>(2) twitter を利用した情報発信について</p> <p>第7回部会開催</p> <p>(1) 「自治会報さがみはら」について</p> <p>ア 発行スケジュールについて</p> <p>イ 校正原稿の確認について</p> <p>(2) HP の充実について</p> <p>自治会報さがみはら第72号発行（会員全世帯配布）</p>																																																
<p>【平成29年度広報部会員】</p> <table border="0"> <tr> <td>部会長</td> <td>石井今朝太</td> <td>市連理事</td> <td>(小 山地区)</td> </tr> <tr> <td>副部長</td> <td>山下 利麿</td> <td>市連理事</td> <td>(城 山地区)</td> </tr> <tr> <td>副部長</td> <td>牛尾 良一</td> <td>市連理事</td> <td>(中 央地区)</td> </tr> <tr> <td>副部長</td> <td>穂苅 健二</td> <td>市連理事</td> <td>(新 磯地区)</td> </tr> <tr> <td>副部長</td> <td>嘉松 皓</td> <td>市連理事</td> <td>(東 林地区)</td> </tr> <tr> <td>部 会 員</td> <td>志村 秀美</td> <td>市連委員</td> <td>(大 沢地区)</td> </tr> <tr> <td>部 会 員</td> <td>澤柳 信幸</td> <td>市連委員</td> <td>(藤 野地区)</td> </tr> <tr> <td>部 会 員</td> <td>武田 邦雄</td> <td>市連委員</td> <td>(清 新地区)</td> </tr> <tr> <td>部 会 員</td> <td>笹野 賢司</td> <td>市連委員</td> <td>(星が丘地区)</td> </tr> <tr> <td>部 会 員</td> <td>川辺 幸男</td> <td>市連委員</td> <td>(上 溝地区)</td> </tr> <tr> <td>部 会 員</td> <td>中村 洋子</td> <td>市連委員</td> <td>(大野南地区)</td> </tr> <tr> <td>部 会 員</td> <td>岸 惣司</td> <td>市連委員</td> <td>(麻 溝地区)</td> </tr> </table>		部会長	石井今朝太	市連理事	(小 山地区)	副部長	山下 利麿	市連理事	(城 山地区)	副部長	牛尾 良一	市連理事	(中 央地区)	副部長	穂苅 健二	市連理事	(新 磯地区)	副部長	嘉松 皓	市連理事	(東 林地区)	部 会 員	志村 秀美	市連委員	(大 沢地区)	部 会 員	澤柳 信幸	市連委員	(藤 野地区)	部 会 員	武田 邦雄	市連委員	(清 新地区)	部 会 員	笹野 賢司	市連委員	(星が丘地区)	部 会 員	川辺 幸男	市連委員	(上 溝地区)	部 会 員	中村 洋子	市連委員	(大野南地区)	部 会 員	岸 惣司	市連委員	(麻 溝地区)
部会長	石井今朝太	市連理事	(小 山地区)																																														
副部長	山下 利麿	市連理事	(城 山地区)																																														
副部長	牛尾 良一	市連理事	(中 央地区)																																														
副部長	穂苅 健二	市連理事	(新 磯地区)																																														
副部長	嘉松 皓	市連理事	(東 林地区)																																														
部 会 員	志村 秀美	市連委員	(大 沢地区)																																														
部 会 員	澤柳 信幸	市連委員	(藤 野地区)																																														
部 会 員	武田 邦雄	市連委員	(清 新地区)																																														
部 会 員	笹野 賢司	市連委員	(星が丘地区)																																														
部 会 員	川辺 幸男	市連委員	(上 溝地区)																																														
部 会 員	中村 洋子	市連委員	(大野南地区)																																														
部 会 員	岸 惣司	市連委員	(麻 溝地区)																																														

【防災安全部会】

7月25日	第1回部会開催 (1) 防災安全部会について (2) 平成28年度の取り組み状況について (3) 平成29年度の協議事項について
9月5日	第2回部会開催 (1) 地域で交通安全指導を行う者の認証制度について (2) TSマーク付帯保険について (3) 地区防災対策について
10月10日	第3回部会開催 (1) 損害保険ジャパン日本興亜株式会社の社員によるサイクル安心保険の説明 (2) 自転車事故防止について (3) TSマーク付帯保険について (4) 地区防災対策について (5) 地域で交通安全指導を行う者の認証制度について
11月20日	相模原警察4署との意見交換会
1月22日	第4回部会開催 (1) 「相模原市安全に安心して自転車を利用しようよ条例」について 市担当課より概要説明及び質疑応答 (2) TSマーク付帯保険について (3) 火災及び大震災時の家庭内対策等について
3月27日	第5回部会開催 (1) これまでの振り返りと今後の取組について
【平成29年度防災安全部会員】	
部会長	石井 正彦 市連理事 (麻溝地区)
副部会長	森 逸雄 市連理事 (大野中地区)
副部会長	田代 明寛 市連理事 (清 新地区)
副部会長	森久保眞二 市連理事 (相模湖地区)
副部会長	森川 哲郎 市連理事 (藤 野地区)
部 会 員	高野 義宣 市連委員 (橋 本地区)
部 会 員	熊谷 弘 市連委員 (津久井地区)
部 会 員	鳥海 千秋 市連委員 (中 央地区)
部 会 員	田中 昌洋 市連委員 (光が丘地区)
部 会 員	安久脩一郎 市連委員 (田 名地区)
部 会 員	嶋村 清明 市連委員 (新 磯地区)
部 会 員	篠塚実希子 市連委員 (相模台地区)
部 会 員	戸崎 憲弘 市連委員 (東 林地区)

【連絡会】

- (1) 区民会議の議題に対する対応等について
- (2) 区との情報交換について
- (3) 区長との懇談会について
- (4) 新任自治会長研修会における各区役割分担について
- (5) 各地区イベントに対する地区自治会連合会としての対応について
- (6) 各地区自治会連合会の情報交換について
- (7) 警察署との情報交換について

【平成 29 年度緑区連絡会員】

座長	草野 寛	(橋本地区)
会員	山下 利麿	(城山地区)
会員	中山 光明	(大沢地区)
会員	落合 勝司	(津久井地区)
会員	森久保眞二	(相模湖地区)
会員	森川 哲郎	(藤野地区)

【平成 29 年度中央区連絡会員】

座長	石井今朝太	(小山地区)
会員	竹田 幹夫	(星が丘地区)
会員	田代 明寛	(清新地区)
会員	吉田 貴亮	(横山地区)
会員	牛尾 良一	(中央地区)
会員	割柏 秀規	(光が丘地区)
会員	河本 博	(大野北地区)
会員	志村 勝美	(田名地区)
会員	小林 充明	(上溝地区)

【平成 29 年度南区連絡会員】

座長	石井 正彦	(麻溝地区)
会員	坂本 堯則	(相模台地区)
会員	森 逸雄	(大野中地区)
会員	大木 恵	(大野南地区)
会員	穂苅 健二	(新磯地区)
会員	瀬尾 守一	(相武台地区)
会員	嘉松 皓	(東林地区)

相模原市自治会連合会では、下記のとおり市の各種審議会等に積極的に参画し、自治会の意向を行政施策等への反映に努めました。

相模原市表彰審査委員会
相模原市情報公開・個人情報保護・公文書管理審議会
市民平和のつどい実行委員会
相模原市米軍基地返還促進等市民協議会
相模原市シティセールス推進協議会
相模原市国際化推進委員会
銀河連邦サガミハラ共和国
相模原市経営評価委員会
相模原市防災会議
相模原市国民保護協議会
相模原市市民協働推進審議会
さがみはら地域づくり大学運営委員会
相模原市市民・行政協働運営型市民ファンド「ゆめの芽」助成金交付事業選考審査会
協働マニュアル検討ワーキングメンバー
さがみはら文化振興懇話会
相模原市男女共同参画審議会
相模原市安全・安心まちづくり推進協議会
相模原市空家等対策協議会
相模原市社会福祉功労者表彰審査委員会
相模原市地域福祉推進協議会
相模原市社会福祉審議会
相模原市福祉のまちづくり推進協議会
相模原市社会を明るくする運動推進委員会
相模原市地域保健医療審議会
相模原市障害者差別解消支援地域協議会
相模原市自殺対策協議会
相模原市地域密着型サービス運営委員会
相模原市地域包括支援センター運営協議会
相模原市地域ケア推進会議
相模原市高齢者・障害者虐待防止ネットワーク協議会
相模原市認知症高齢者・障害者等徘徊 SOS ネットワーク連絡協議会
相模原市国民健康保険運営協議会
相模原市青少年問題協議会
相模原市保健衛生功労者被表彰者選考委員会
相模原市薬物乱用防止連絡会
人と動物との共生社会推進懇話会
相模原市民まつり実行委員会
相模原市環境審議会
相模原市地球温暖化対策推進会議
さがみはら地球温暖化対策協議会

さがみはら生物多様性ネットワーク
相模原市有害鳥獣対策協議会
相模原市廃棄物減量等推進審議会
相模原市廃棄物減量等推進審議会公募委員選考委員会
相模原市廃棄物減量等代表推進員
相模原市美化運動推進協議会美化推進委員
相模原市都市計画審議会
相模原市地域公共交通会議
相模原市公共交通整備促進協議会
小田急多摩線延伸促進協議会
相模原市住宅審議会
相模原市下水道事業審議会
相模原市緑区区民会議
相模原市中央区区民会議
相模原市南区区民会議
相模原市子どものいじめに関する審議会
公益財団法人相模原市まち・みどり公社
社会福祉法人相模原市社会福祉協議会
公益社団法人相模原市シルバー人材センター
公益財団法人相模原市民文化財団
広報「健康さがみはら」モニター
相模原市公共交通網の整備を促進する会

(議案第2号)

平成29年度相模原市自治会連合会収支決算報告

平成29年4月1日～平成30年3月31日

<収入>

(単位:円)

科目	細目	a予算額	b収入済額	増減(b-a)
分担金	地区自治会連合会分担金	4,271,000	4,230,000	△ 41,000
補助金	市自治会連合会補助金	26,931,000	26,911,030	△ 19,970
	防犯灯施設賠償責任保険料補助金	26,868,000	26,868,000	0
		63,000	43,030	△ 19,970
奨励金	自治会等活動推進奨励金	136,660,000	135,262,840	△ 1,397,160
物品販売収入	自治会手帳販売	210,000	132,000	△ 78,000
繰越金	前年度剰余金	157,894	157,894	0
雑収入		5,150,106	11,250	△ 5,138,856
	回覧板広告収入	5,000,000	0	△ 5,000,000
	その他雑収入	150,106	11,250	△ 138,856
合計		173,380,000	166,705,014	△ 6,674,986

<支出>

科目	細目	a予算額	b支出済額	増減(a-b)
管理費		7,541,000	7,410,568	130,432
	会議費	78,000	61,728	16,272
	理事会	59,000	58,498	502
	役員会	5,000	1,230	3,770
	部会	14,000	2,000	12,000
	人件費 事務員	1,950,000	1,785,500	164,500
	事務費	4,665,000	4,847,374	△ 182,374
	事務室借料	4,065,000	3,861,036	203,964
	電話使用料	160,000	173,772	△ 13,772
	事務所費	440,000	812,566	△ 372,566
	旅費	555,000	436,020	118,980
	理事会等	375,000	298,384	76,616
	部会	180,000	137,636	42,364
	通信費	103,000	85,432	17,568
	渉外費	190,000	194,514	△ 4,514

科目	細目	a予算額	b支出済額	増減(a-b)
事業費		165,712,000	158,879,627	6,832,373
	定期総会	238,000	204,954	33,046
	資料印刷製本費	72,000	72,000	0
	会場借上料	66,000	65,210	790
	看板、消耗品費等	100,000	67,744	32,256
	自治会大会	774,000	813,501	△ 39,501
	資料印刷製本費	149,000	201,500	△ 52,500
	賞状筆耕印刷費	160,000	160,000	0
	アトラクション	120,000	111,840	8,160
	会場借上料	170,000	181,210	△ 11,210
	看板作成取付費	65,000	2,500	62,500
	消耗品費	110,000	156,451	△ 46,451
	広報発行費	3,810,000	3,810,000	0
	印刷費・配送費	3,808,000	3,808,000	0
	事務費	2,000	2,000	0
	地域情報紙発行費	13,530,000	13,530,000	0
	印刷費・配送費	13,510,000	13,510,000	0
	事務費	20,000	20,000	0
	回覧板発行費	5,000,000	0	5,000,000
	作製費・配送費	4,995,000	0	4,995,000
	事務費	5,000	0	5,000
	納付金	35,000	21,000	14,000
	小田急多摩延伸促進協議会負担金	10,000	10,000	0
	さがみはら地球温暖化対策協議会負担金	10,000	10,000	0
	さがみはら生物多様性ネットワーク負担金	5,000	1,000	4,000
	相模原市児童虐待いじめ防止連絡会会費	10,000	0	10,000
	顕彰費	440,000	388,534	51,466
	地域活動功労者	380,000	328,534	51,466
	退任理事	60,000	60,000	0
	自治会等活動助成費	135,780,000	134,382,840	1,397,160
	市連活動推進奨励金	5,280,000	5,280,000	0
	地区連活動推進奨励金 (地区連・自治会長・単位自治会)	130,500,000	129,102,840	1,397,160
	活動費	6,105,000	5,728,798	376,202
	加入促進事業	600,000	145,746	454,254
	自治会加入促進重点プロジェクト	1,300,000	1,492,156	△ 192,156
	情報発信強化事業	1,000,000	849,680	150,320
	保険料	63,000	43,030	19,970
	研修費等	600,000	656,186	△ 56,186
	自治会手帳作製費	1,060,000	1,060,000	0
	厚生事業運営費等	1,482,000	1,482,000	0
返還金	平成28年度事業費等に係る補助金返還金	0	0	0
慶弔費	弔慰金等	100,000	84,252	15,748
予備費		27,000	0	27,000
合計		173,380,000	166,374,447	7,005,553

収入済額 166,705,014 円－支出済額
翌年度に繰り越します。

166,374,447 円＝収支差引金額 330,567 円は、
(平成29年度補助金返還金212,000円を含む)

平成30年3月31日

相模原市自治会連合会

会長 坂本 堯則

会計 竹田 幹夫



平成30年5月11日

相模原市自治会連合会

会長 坂本 堯則 殿

相模原市自治会連合会監事

森 逸雄



相模原市自治会連合会監事

山下 利麿



会計監査報告

次のとおり、報告します。

- 1 監査期日 平成30年5月11日
- 2 監査対象 平成29年度相模原市自治会連合会の予算執行及び

現金出納状況

- 3 監査結果 (1) 適切に執行されていることを認めます。
(2) 現金出納簿、預金通帳、収入命令書及び支出命令書を審査したところ、適正であることを認めます。

以上

平成30年度相模原市自治会連合会事業計画(案)

事業理念

本会は、「相模原に住んでみたい」、「相模原に住んで良かった」、「相模原に住みつづけたい」と誰もが思える、心豊かで安全・安心なまちづくりを、「自治は笑顔と協働から」を合言葉に、会員の自主的な活動参加による自治会運営とともに、これからも目指してまいります。そのためには、自らが地域を守る意識を持ち、会員同士の交流を促進し、相互に協力しながら、自主的な活動に取り組むことが重要です。

また、平成25年度に相模原市と締結した連携基本協定に基づく連携と協働をさらに広めるとともに、自治会組織の強化をさらに進め、会員の退会防止と新規会員の加入促進に取り組めます。

事業方針

市との連携基本協定・不動産3団体との協定に基づく取り組みについて、単位自治会に周知・徹底し、協定の効果をより高めなければなりません。同時に自治会は、各区の地域振興と、首都圏南西部の広域交流拠点都市としてのまちづくりをけん引する役割を担っており、自治会をはじめとした地域活動は行政運営にとって、もはや欠かせない存在といえます。

市自治会連合会は昭和44年に発足し、平成30年6月には創立50周年の節目を迎えます。この年を自治会の更なる発展の契機として、自治会員の機運を高め、将来を見据え、新たに邁進してまいります。

市自治会連合会が進めている「心豊かで安全・安心なまちづくり」において、今まで以上に会員の自主的な活動参加が必要となるため、自治会の存在に関心を示さない市民に対して自治会の意義についての的確な情報を発信するとともに、地域づくりには、多くの市民の活動への参加が必要であることを理解いただくとともに、参加を促してまいります。

また、自治会の政策要望の市政への反映と、自治会組織の強化を図りながら会員が楽しく自治会運営に関われるよう、自治会・地区自治会連合会・市自治会連合会が一体となって次の事業に取り組めます。

1 自治会活動の展開に向けて

1) 加入促進による自治会組織の強化と活動の促進

全国的な課題となっている自治会加入率の低下は、本市においても例外ではなく、年々低下傾向にあります。若い世代の自治会離れや高齢者の退会者増加、役員の担い手不足等、自治会活動を進めて行くことが困難となってきたという問題も抱えています。

このような状況下では、単なる自治会加入促進活動に留まらず、自治会の活動や地域の課題解決機関としての重要性、自治会加入のメリットを発信していくことが必要です。会員に配付する宿泊施設や人間ドックなどの自治会員専用割引(J i c h i P a s s)については、昨年11月から弁護士相談の割引を新たに開始し多くの方に利用いただいておりますが、更に内容の充実に取組んでまいります。

また、相模原市自治会加入推進協議会の構成団体である、相模原青年会議所やP

TA等、若い世代で組織された団体との連携を強化し、活気の溢れる地域づくりを目指してまいります。

平成29年度政策要望として市へ要望し、本年度創設された地域活動ポイント制度について、市と連携し、制度の円滑な導入を図るとともに、ポイント付与による自治会活動への参加のメリットを活用し、新たな担い手の確保や活動の活性化を図ってまいります。

2) 政策提言と協働への取り組み強化

地域コミュニティづくりに対する会員の要望は多岐に渡っており、その中で新たな政策や実現に多くの時間を要する課題については、自治会として共通認識の上に立ち、政策提言や政策要望を的確に行います。一方、市からも地域づくりに関する施策の変更や新たな政策の導入を行う計画の際には、自治会に対し提案がなければなりません。

このことを前提に案件ごとに整合性を図りながら、行政との意見交換会を実施するための提案や市との協働を進め、課題解決に取り組んでまいります。

具体的な検討内容としては、放課後や長期休暇期間中の学校の図書室や校庭の地域への開放による子どもたちの遊び場所の確保、避難所運営の人材確保、民生委員の選出のサポート、また市内に住む外国人のごみのマナー問題など、課題も多く、会員・自治会の意向を踏まえながら、市との調整などにより、課題解決に向けた地区自治会連合会・単位自治会に対する支援について検討してまいります。

3) 的確な情報発信とホームページの有効活用

市自治会連合会ホームページのリニューアルから2年が経過し、これまで市自治会連合会や各地区自治会連合会からの情報掲載をはじめ、住所からの自治会検索機能の精度向上など、利用者にとってわかりやすく充実したホームページを目指し、改良を進めてまいりました。

市自治会連合会として、若者から高齢者まで、デジタルなホームページとアナログの情報紙の両面で情報を提供することが重要と考えており、ホームページにおいては、多様化への対応、魅力ある記事づくり、関連団体との相互リンク、回覧板の作成、ホームページ担当者の技術の向上を目指し、今後更に改良を進めてまいります。

また、ホームページでの住所からの自治会検索機能に新たに自治会費を掲載し、積極的な情報発信を行うとともに、特に情報に敏感な若い世代への自治会加入促進に繋げてまいります。

4) まちづくり会議の主導と各種審議会における参画

まちづくり会議・区民会議の中核組織として、自治会が進める安全・安心なまちづくりのための課題提起を必要に応じて行い、地域づくりが実現できるよう自治会として、会議の運営に責任を持ち、主導してまいります。

また、市の行政施策の方向付けを行う各種の審議会・協議会等に対しては、積極的に参画し、特に住民生活に直結する事項について、自治会の意向が反映されるよう努めてまいります。

5) 自治会大会など会員交流の促進と効果的な研修実施

市自治会連合会創立50周年を迎える本年に、創立50周年記念自治会大会を開催します。多くの会員の交流の場でもある自治会大会において、自治会員が自ら進

んで参加するような魅力ある大会としてまいります。また、長年自治会運営に多大な尽力をいただいた方へ感謝状の贈呈をさせていただきます。

新任自治会長研修会は、会長同士の交流や自治会活動における疑問点の解消などを目的として開催しており、参加者からのアンケートなどを参考にしながら、引き続きより良い研修会を目指してまいります。

6) ホームタウン4球団への支援

相模原市の知名度を全国的に向上させるため、ホームタウンチームとして活躍が脚光を浴びている、サッカー「SC相模原」、アメリカンフットボール「ノジマ相模原ライズ」、ラグビー「三菱重工相模原ダイナボアーズ」、女子サッカー「ノジマステラ神奈川相模原」に対し、要請に応じたポスター掲示や試合日程の回覧などの支援を行ってまいります。

2 安心・安全なまちづくりに向けて

1) 防犯協会・交通安全協会などと連携した地域づくり

相模原市は「交通事故」発生件数が県内でも非常に多く、平成29年中の相模原市内での交通事故件数は2,770件で、うち自転車に関係する交通事故件数は860件となっております。平成30年度から、相模原市安全・安心まちづくり推進協議会の組織が、区ごとに設置され、地域の実情等に応じた事業を実施できる体制となったため、自転車交通事故の削減に向けた、自転車マナーアップ講習会やスクエアドストレイト事業を実施し、自転車利用者のルールの遵守やマナーの向上への取り組みを行います。さらに、自転車運転者が加害者となる割合が年々増加しており、中には1億円近い損害賠償を求められる事案も発生しております。

平成29年12月に「相模原市安全に安心して自転車を利用しようよ条例」が一部施行され、平成30年7月より、自転車事故に備えた自転車損害賠償保険等への加入の義務化等に関する条例が施行されることに伴い、市自治会連合会としてもTSマーク付帯保険の加入促進に積極的に取り組んでいくために、自治会員専用割引を活用した点検費用の割引について神奈川県自転車商協同組合各支部との交渉を進めてまいります。

また、犯罪防止対策にも取り組み、地区自治会連合会、単位自治会と連携し、青パトを使ったパトロール活動の実施、さらに防犯協会、交通安全協会等の団体と連携した防犯・交通安全パトロールやキャンペーンも引き続き実施しながら、市民の方々に啓発活動を行ってまいります。

また、不審な行為等から児童を守るために、登下校時の見守りを引き続き進めてまいります。

2) 地区防災計画の活用と減災対策の取り組み

相模原市は南区、中央区、緑区の3区に区分されており、地域の立地条件によって防災への対応が変わることから、「地区防災計画」を活用しながら減災対策に取り組んでまいります。

また外国人居住者への災害時の対応や高齢者の安否確認、災害時要援護者への対応の取り組みもこれまで以上に進めていかななくてはなりません。

災害時の高齢者の安否確認には、黄色い小旗・タオルを利用して玄関先に掲示するなどの取り組みが効果的です。また、災害時要援護者への対応には民生委員児童

委員と連携を強化して取り組んでまいります。

3) 防犯カメラ設置促進と効果ある運用研究

防犯カメラの設置については、「相模原市防犯カメラの設置及び運用に関するガイドライン」と創設された補助制度により、単位自治会でも設置が進んでいます。防犯カメラは24時間撮影可能であることから、犯罪の抑止効果があるとともに、犯罪発生時には事件の早期解決に役立つなど、安全で安心して暮らせるまちの実現に大きな役割を果たします。そのため、防犯カメラの設置促進を推奨し、犯罪の起こりにくい安全で安心して暮らせるまちづくりを構築してまいります。

3 会員の生活支援と環境を守る活動に向けて

1) 地球温暖化防止をはじめとした地域の環境を守る活動

市自治会連合会、地区自治会連合会、単位自治会では、地域の環境保全のための活動を行っております。街をきれいにする諸活動や相模原市美化運動推進協議会や関係団体と連携して会員の活動参加も呼び掛けています。

平成28年度に一般ゴミの回収が週3回から2回となってから1年が経過し、ゴミの分別促進活動が進められたことにより、平成28年10月から平成29年9月末までの収集量は前年同時期と比較して一般ゴミを4.0%減量させることができました。これからも分別回収の更なる徹底を会員の皆様に呼びかけてまいります。

また、食品廃棄物「食品ロス」は、国内で年間約621万トンも発生しており、その削減に向け、市自治会連合会としても市と連携し、会員への呼びかけをおこなってまいります。

地球温暖化防止という観点からは、さがみはら地球温暖化対策協議会と連携を強化し、会員の皆様に電灯をLED化する提案や創エネ（エネルギーをつくる）太陽光発電システムの設置促進を図るとともに、各単位自治会に「出前講座」を実施するなどの活動も進めてまいります。

2) 基地返還・リニア中央新幹線開業を前提とするまちづくりへの参画

相模総合補給廠返還跡地活用とリニア中央新幹線・小田急多摩線延伸を前提とした、相模原駅周辺と橋本駅周辺を有機的に連携させた首都圏南西部の広域交流拠点都市としてのまちづくり計画の方針に基づき、計画の実現に向けた、諸課題への対応など、新交通システムの起点となる相模大野を含め、周辺自治会を中心に市民が望むまちづくりが進むよう自治会からの提言も視野に入れた対応を図ってまいります。

また、米軍基地（キャンプ座間・相模総合補給廠・相模原住宅地区）は、交通路の分断、騒音被害など周辺住民のみではなく、市民生活に不便を強いており、相模原市米軍基地返還促進等市民協議会の活動に参画し、対策に取り組めます。

3) 高齢者支援をはじめとする会員福祉対策

相模原市の65歳以上の高齢化率は2045年を境に全国平均を超えるペースで上昇すると市は推計しています。高齢者の中には認知症高齢者も多く、高齢化が進むにつれ、認知症高齢者の徘徊が増加すると考えられます。地区自治会連合会、単位自治会では試行錯誤をしながら様々な高齢者支援の取組みが検討されていますが、災害時要援護者への対応と同じく、これからの取組みであり、社会福祉協議会と協議をしながら実態に応じた取組みを進めてまいります。

高齢者支援センターとの連携による認知症サポーターの増員や民生委員児童委員との連携強化などにより、会員の福祉対策や地域ケア会議地域づくり部会への参加を行ってまいります。

また単位自治会のひとり暮らし高齢者の見守り活動や実施しているサロン活動への支援も実施してまいります。

4) 子どもの体力向上のための支援

子どもの体力低下は、将来を担う世代の健康状態に影響を及ぼすだけでなく、社会全体の活力に影響を及ぼすことが懸念されるため、教育機関や家庭、地域を含む全体での取り組みが望まれています。子どもの体力向上を図るには、運動時間を増加させる必要がありますが、公園等のボール遊びの禁止や遊具の撤去が進む等、子どもが自由に、安全に遊べる場所が減少してきています。そこで、学校を活用する等、市と連携して子どもの体力向上のための支援について検討してまいります。

5) 子ども会組織の活性化

地域によっては子ども会組織や地区子ども会育成連絡協議会の活性化が課題となっています。子ども会育成連絡協議会の地域活動への参加とともに、子ども会組織については、子育て支援の一環として、父母だけにとどまらず、地域で支えることが重要であり、自治会としても新たな対策を考え、提案する必要がある時期にあります。そのため市子ども会育成連絡協議会との情報交換の場を設けながら、自治会と地区子ども会育成連絡協議会のつながりについて検討すると同時に、行政の関与の在り方についても連携をとりながら検討してまいります。

6) 青少年健全育成への支援

次代を担う青少年の健全育成のため、いじめや児童虐待、障害者差別をはじめとする青少年対策は地域・学校・行政が一体となって進める必要があります。情報の共有化を含め、対策強化を関係機関へ働きかけてまいります。

7) 小田急多摩線延伸活動への参画と新交通システムの実現促進

平成28年4月に、国の交通政策審議会答申第198号において、小田急多摩線の延伸は意義のあるプロジェクトの一つとして位置づけられたことを受け、今後も小田急多摩線延伸促進協議会と協力し、延伸の早期実現に向けた積極的な活動に取り組んでまいります。

また、津久井広域道路の整備や相模大野を基点とする新交通システム実現のためには、広域交流拠点としてのまちづくりがカギとなることが想定され、実行計画策定に向け、積極的に市に対し提言を行ってまいります。

平成30年度相模原市自治会連合会年間事業予定表

月	事 業 予 定
4	●市民桜まつりへの参加（7日・8日） ●役員会（6日）・理事会（11日）
5	●役員会（11日）・理事会（16日）・役員会（25日）
6	●理事会（2日午前） ●定期総会（2日午後） ●新任自治会長研修会〔9日（南区）、10日（中央区）、16日（緑区）〕
7	●役員会（6日）・理事会（11日） ●自治会大会・50周年記念祝賀会（7日）
8	●役員会（6日）・理事会（8日）
9	●役員会（7日）・理事会（12日） ●理事視察研修会（25日～26日）
10	●役員会（5日）・理事会（10日）
11	●「自治会報さがみはら」第73号発行（会員全世帯配布） ●役員会（2日）・理事会（7日） ●自治会加入促進重点キャンペーン（日程、場所未定）
12	●役員会（7日）・理事会（12日）
1	●賀詞交換会（未定） ●役員会（11日）・理事会（16日）
2	●役員会（1日）・理事会（6日） ●区長と地区自治会連合会会長・副会長との懇談会（未定）
3	●「自治会報さがみはら」第74号発行（会員全世帯配布） ●役員会（1日）・理事会（6日） ●自治会加入促進キャンペーン（日程、場所未定） ●「自治会員専用割引（J i c h i P a s s）」発行（会員全世帯配布）
通年	年間を通じて ●自治会の加入促進 ●ホームページや地域情報コーナーを活用した情報発信の強化に取り組んでいきます

* 上記のほか、部会・連絡会・自治会加入推進協議会を適宜開催します。

(議案第4号)

平成30年度相模原市自治会連合会収支予算(案)

平成30年4月1日～平成31年3月31日

<収入>

(単位:円)

科目	細目	a本年度予算額	b前年度予算額	増減(a-b)
分担金		5,194,700	4,271,000	923,700
	地区自治会連合会分担金	4,230,000	4,271,000	△41,000
	50周年地区自治会連合会分担金	964,700	0	964,700
協賛金	50周年記念事業協賛金	1,300,000	0	1,300,000
補助金		27,144,000	26,931,000	213,000
	市自治会連合会補助金	27,083,000	26,868,000	215,000
	防犯灯施設賠償責任保険料補助金	61,000	63,000	△2,000
奨励金	自治会等活動推進奨励金	135,177,000	136,660,000	△1,483,000
物品販売収入	自治会手帳販売	150,000	210,000	△60,000
繰越金	前年度剰余金	330,567	157,894	172,673
雑収入		120,733	5,150,106	△5,029,373
	回覧板広告収入	0	5,000,000	△5,000,000
	その他雑収入	120,733	150,106	△29,373
合計		169,417,000	173,380,000	△3,963,000

<支出>

科目	細目	a本年度予算額	b前年度予算額	増減(a-b)
管理費		7,364,000	7,541,000	△177,000
	会議費	74,000	78,000	△4,000
	理事会	59,000	59,000	0
	役員会	5,000	5,000	0
	部会	10,000	14,000	△4,000
	人件費 事務員	1,950,000	1,950,000	0
	事務費	4,482,000	4,665,000	△183,000
	事務室借料	3,862,000	4,065,000	△203,000
	電話使用料	180,000	160,000	20,000
	事務所費	440,000	440,000	0
	旅費	555,000	555,000	0
	理事会等	375,000	375,000	0
	部会	180,000	180,000	0
通信費	103,000	103,000	0	
渉外費	200,000	190,000	10,000	

科目	細目	a本年度予算額	b前年度予算額	増減(a-b)
事業費		161,631,000	165,712,000	△ 4,081,000
	定期総会	208,000	238,000	△ 30,000
	資料印刷製本費	72,000	72,000	0
	会場借上料	66,000	66,000	0
	看板、消耗品費等	70,000	100,000	△ 30,000
	自治会大会	1,333,000	774,000	559,000
	資料印刷製本費	210,000	149,000	61,000
	賞状筆耕印刷費	160,000	160,000	0
	アトラクション	190,000	120,000	70,000
	会場借上料	221,000	170,000	51,000
	看板作成取付費	53,000	65,000	△ 12,000
	ポスター作成費	389,000	0	389,000
	消耗品費	110,000	110,000	0
	広報発行費	3,898,000	3,810,000	88,000
	印刷費・配送費	3,896,000	3,808,000	88,000
	事務費	2,000	2,000	0
	地域情報紙発行費	13,530,000	13,530,000	0
	印刷費・配送費	13,510,000	13,510,000	0
	事務費	20,000	20,000	0
	回覧板発行費	0	5,000,000	△ 5,000,000
	作製費・配送費	0	4,995,000	△ 4,995,000
	事務費	0	5,000	△ 5,000
	納付金	31,000	35,000	△ 4,000
	小田急多摩延伸促進協議会負担金	10,000	10,000	0
	さがみはら地球温暖化対策協議会負担金	10,000	10,000	0
	さがみはら生物多様性ネットワーク負担金	1,000	5,000	△ 4,000
	相模原市児童虐待いじめ防止連絡会会費	10,000	10,000	0
	顕彰費	410,000	440,000	△ 30,000
	地域活動功労者	380,000	380,000	0
	退任理事	30,000	60,000	△ 30,000
	自治会等活動助成費	134,377,000	135,780,000	△ 1,403,000
	市連活動推進奨励金	5,280,000	5,280,000	0
	自治会等活動推進奨励金 (地区連・自治会長・単位自治会)	129,097,000	130,500,000	△ 1,403,000
	活動費	7,844,000	6,105,000	1,739,000
	加入促進事業	600,000	600,000	0
	自治会加入促進重点プロジェクト	1,300,000	1,300,000	0
	情報発信強化事業	1,000,000	1,000,000	0
	保険料	50,000	63,000	△ 13,000
	研修費等	600,000	600,000	0
	自治会手帳作成費	1,060,000	1,060,000	0
	厚生事業運営費	1,570,000	1,482,000	88,000
	50周年記念誌	1,664,000	0	1,664,000
返還金	平成29年度事業費等に係る補助金返還金	212,000	0	212,000
慶弔費	弔慰金等	100,000	100,000	0
繰出金	周年事業基金繰出金	100,000	0	100,000
予備費		10,000	27,000	△ 17,000
合計		169,417,000	173,380,000	△ 3,963,000

平成30年度 相模原市自治会連合会役員・理事

役 職	氏 名	地 区
会 長	坂 本 堯 則	相模台地区自治会連合会会長
副会長	草 野 寛	橋本地区自治会連合会会長
副会長	石 井 正 彦	麻溝地区自治会連合会会長
副会長	竹 田 幹 夫	星が丘地区自治会連合会会長
会 計	田 代 明 寛	清新地区自治会連合会会長
監 事	森 逸 雄	大野中地区自治会連合会会長
監 事	山 下 利 麿	城山地区自治会連合会会長
理 事	石 井 今朝太	小山地区自治会連合会会長
理 事	吉 田 貴 亮	横山地区自治会連合会会長
理 事	牛 尾 良 一	中央地区自治会連合会会長
理 事	割 柏 秀 規	光が丘地区自治会連合会会長
理 事	河 本 博	大野北地区自治会連合会会長
理 事	大 木 恵	大野南地区自治会連合会会長
理 事	中 山 光 明	大沢地区自治会連合会会長
理 事	志 村 勝 美	田名地区自治会連合会会長
理 事	小 林 充 明	上溝地区自治会連合会会長
理 事	穂 苺 健 二	新磯地区自治会連合会会長
理 事	瀬 尾 守 一	相武台地区自治会連合会会長
理 事	嘉 松 皓	東林地区自治会連合会会長
理 事	落 合 勝 司	津久井地区自治会連合会会長
理 事	森久保 眞 二	相模湖地区自治会連合会会長
理 事	森 川 哲 郎	藤野地区自治会連合会会長

平成30年度 相模原市自治会連合会委員名簿

No.	地区		氏名
1	小山	1	星 清次
2	〃	2	入谷利郎
3	〃	3	安藤孝洋
4	〃	4	渡 静夫
5	〃	5	江口基明
6	清新	1	丹波晴道
7	〃	2	池田弘幸
8	〃	3	柴田文夫
9	〃	4	野尻萬憲
10	〃	5	武田邦雄
11	横山	1	鈴木 崇
12	〃	2	坂元俊美
13	〃	3	高須輝男
14	〃	4	大久保秀子
15	中央	1	大沼敏男
16	〃	2	鳥海千秋
17	〃	3	中川清一
18	〃	4	高橋征彦
19	〃	5	水谷久子
20	星が丘	1	横田智治
21	〃	2	坂本洋三
22	〃	3	成川 猛
23	〃	4	長塚勇一郎
24	光が丘	1	田中昌洋
25	〃	2	阿部俊夫
26	〃	3	鈴木勝雄
27	〃	4	南 雄二
28	〃	5	熊谷由加

No.	地区		氏名
29	橋本	1	藤田勇作
30	〃	2	中村 豊
31	〃	3	鈴木 勇
32	〃	4	松田 豊
33	〃	5	高野義宣
34	〃	6	石原敬三
35	大野北	1	山口信郎
36	〃	2	飯田秀雄
37	〃	3	加藤凱夫
38	〃	4	林 知治
39	〃	5	高木喜秋
40	〃	6	杉岡彰仁
41	大野中	1	川島光子
42	〃	2	細谷 剛
43	〃	3	岡部哲夫
44	〃	4	成嶋淳介
45	〃	5	大浦一人司
46	〃	6	尾見嘉正
47	〃	7	平野大介
48	大野南	1	古木幸一
49	〃	2	渋谷典彦
50	〃	3	中村洋子
51	〃	4	瀬戸量平
52	〃	5	若林輝雄
53	〃	6	中島千尋
54	〃	7	大村重雄

平成30年度 相模原市自治会連合会委員名簿

No.	地区		氏名
55	大沢	1	矢野 信行
56	〃	2	宮崎 幸良
57	〃	3	山口 芳明
58	〃	4	小俣 哲夫
59	〃	5	酢谷 稔
60	田名	1	安久 脩一郎
61	〃	2	内山 和夫
62	〃	3	代田 修
63	〃	4	大谷 俊信
64	〃	5	松川 眞三
65	上溝	1	金子 行親
66	〃	2	小林 信二郎
67	〃	3	中村 秀夫
68	〃	4	飯坂 武義
69	〃	5	今泉 和夫
70	麻溝	1	石井 由之
71	〃	2	井上 芳英
72	〃	3	廣瀬 明美
73	〃	4	寺沢 康則
74	新磯	1	野頭 重一
75	〃	2	富田 清重
76	〃	3	鈴木 眞司
77	〃	4	嶋村 清明
78	相模台	1	篠塚 実希子
79	〃	2	中村 明
80	〃	3	鈴木 博雄
81	〃	4	枅田 貞明
82	〃	5	前田 誠一
83	〃	6	若月 智

No.	地区		氏名
84	相武台	1	加藤 正宏
85	〃	2	鳴島 昇
86	〃	3	河野 和子
87	〃	4	奥野 智
88	〃	5	下野 和昭
89	東林	1	古木 昇
90	〃	2	戸崎 憲弘
91	〃	3	齋藤 良幸
92	〃	4	加藤 毅久雄
93	〃	5	黒川 康弘
94	〃	6	黒子 信雄
95	城山	1	大参 正人
96	〃	2	齋藤 信夫
97	〃	3	金子 肇
98	〃	4	御手洗 多喜男
99	〃	5	中野 秀人
100	津久井	1	熊谷 弘
101	〃	2	松本 雅之
102	〃	3	林 隆
103	〃	4	武内 進
104	〃	5	田中 康夫
105	相模湖	1	長谷川 兌
106	〃	2	森久保 高弘
107	〃	3	江藤 雅文
108	〃	4	中里 正巳
109	藤野	1	澤柳 信幸
110	〃	2	宮野 善三郎
111	〃	3	荒井 利至
112	〃	4	丸山 博司

相模原市自治会連合会規約

(名称及び事務所)

第1条 この会は、相模原市自治会連合会（以下「本会」という。）といい、事務所を相模原市中央区富士見6丁目6番23号けやき会館内に置く。

(組織)

第2条 本会は、相模原市内の地域住民の自治組織である自治会及び当該自治会が一定の地域で組織する地区自治会連合会（以下「自治会」という。）をもって組織する。

(目的)

第3条 本会は、自治会相互の緊密な連携を図り、住民福祉の向上と自治会の円滑な運営を促進し、良好な地域社会の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 住民の福祉向上に関すること。
- (2) 自治会の運営に対する協力、援助に関すること。
- (3) 自治会に共通する課題についての調査研究に関すること。
- (4) 会員相互の親睦及び連帯意識の高揚に関すること。
- (5) 相模原市その他の団体とのパートナーシップによる連携及び協力に関すること。
- (6) その他目的達成に必要な事業に関すること。

(役員)

第5条 本会に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 3名
- (3) 会計 1名
- (4) 監事 2名

(役員職務)

第6条 会長は、本会を代表し、会務を総括する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

3 会計は、本会の会計を処理する。

4 監事は、本会の会計を監査する。

(役員選出)

第7条 会長、副会長、会計、監事は、理事会において、理事の中から互選又は推せんにより選出する。

(任期等)

第8条 会長の任期は1期2年とする。ただし、1期を限度として再任することができる。

2 副会長、会計及び監事の任期は1期2年とする。ただし、同一役職については1期を限度として再任することができる。

3 前2項ただし書きの規定にかかわらず、本会の適切な運営のために役員が同一役職として2期を超えて在任することが必要であると理事会が認める場合には、1期を限度として再任することができる。

4 欠員により選任された役員の任期は、前任者の残任期間とする。

(理事)

第9条 本会に理事を置く。

2 理事は、地区自治会連合会長をもって充てる。

3 理事は、本会の事業の執行、運営の協議にあたる。

(委員)

第10条 本会に委員を置く。

2 委員の定数は、別表のとおりとし、地区自治会連合会が適宜な方法により選出した者をもって充てる。

3 委員の任期は1年とし、再任は妨げない。また、欠員により選任された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 理事は、委員を兼ねることができない。

(会議)

第11条 本会の会議は、総会、理事会及び役員会とする。

(総会)

第12条 総会は、委員をもって構成し、次の事項を審議する。

(1) 規約の制定及び改廃に関すること。

(2) 事業計画及び予算を決定し、並びに決算を認定すること。

(3) その他理事会が必要と認める事項を決定すること。

(理事会)

第13条 理事会は、理事をもって構成し、次の事項を協議し、執行する。

(1) 総会で決定された事項を処理すること。

(2) 本会の運営上、必要な事項を企画立案すること。

(3) 理事会に委任された事項を処理すること。

(4) 必要と認める規程及び要綱を設け、又は改廃すること。

(役員会)

第14条 役員会は、役員をもって構成し、次の事項を協議する。

(1) 理事会へ提出の議案を立案すること。

(2) 緊急事項を処理すること。

(3) その他会長が必要と認めた事項。

(専決処分)

第15条 前3条の各会議に規定する事項等で緊急を要するものは、会長はこれを専決処分することができる。

2 前項の規定により専決処分した事項については、次の総会又は理事会若しくは役員会において報告し、その承認を求めなければならない。

(総会の招集等)

第16条 定期総会は、毎年1回年度初めに開催する。

2 臨時総会は、会長が必要と認めたとき又は委員の3分の1以上より請求があったときに、会長が招集する。

3 総会の議長は、委員の互選により選出する。

(理事会の招集等)

第17条 理事会は、必要に応じ会長が招集し、会長が議長となる。

(役員会の招集等)

第18条 役員会は、必要に応じ会長が招集し、会長が議長となる。

(会議の成立等)

第19条 会議はすべて構成員の2分の1以上の出席(出席者への委任を行った者の数を出席者に加えるものとする。)がなければ開くことはできない。

2 議事は、出席者の過半数の同意によって決定し、可否同数のときは、議長の決するところとする。

(部会)

第20条 本会に、次の部会を設ける。

名 称	調 査 研 究 事 項 等
総 務 部 会	本会及び自治会の組織、運営等に関すること。
広 報 部 会	本会の活動等の広報及び公聴に関すること。
防災安全部会	本会及び自治会の防犯、防災及び交通等に関すること。

2 前項に掲げる部会のほか、理事会が必要があると認めるときは、特別部会を設けることができる。

3 各部会は、理事及び委員をもって組織する。

4 部会に属する理事は、理事会の同意を得て会長が委嘱するものとし、部会に属する委員は、地区自治会連合会において適宜な方法により選出されたもの1人を会長が委嘱するものとする。

5 部会に部会長及び副部会長を置き、部会に属する理事が互選する。

6 部会長は、部会の会務を総括し、副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故あるときはその職務を代理する。

7 部会長は、部会において調査研究した事項等を理事会に報告しなければならない。

8 会長は、部会の会議に出席し、意見を述べることができる。

(連絡会)

第21条 本会に、次の連絡会を置く。

(1) 緑区連絡会

(2) 中央区連絡会

(3) 南区連絡会

2 各連絡会は、その区に属する理事をもって構成する。

3 連絡会には、座長が必要と認められた場合は、他の区に属する理事が出席できるものとする。

4 連絡会の座長は、副会長をもって充て、会を代表する。

5 座長の任期は2年とし、再任は妨げない。

6 連絡会の結果は理事会に報告するものとし、決議事項は理事会の承認を得ることにより、その効力を発するものとする。

(事務局)

第22条 本会の事務を処理するため、本会に事務局を置く。

(経費)

第23条 本会の経費は、会費、補助金その他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第24条 本会の会計年度は、4月1日から始まり、翌年3月31日をもって終わる。

(委任)

第25条 この規約に定めるもののほか、本会の運営に必要な事項は理事会で定める。

附 則

この規約は、昭和44年6月28日から施行する。

附 則

この規約は、昭和46年6月19日から施行し、昭和45年11月1日から適用する。

附 則

この規約は、昭和47年6月17日から施行する。

附 則

この規約は、昭和50年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、昭和56年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、昭和62年6月13日から施行し、昭和62年4月1日から適用する。ただし、第8条第1項の規定は、平成元年4月1日から適用する。

附 則

この規約は、平成2年6月16日から施行し、平成2年4月1日から適用する。

附 則

この規約は、平成16年6月12日から施行し、平成16年4月1日から適用する。ただし、別表(第10条関係)の規定は、平成17年4月1日から適用する。

附 則

この規約は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、平成22年6月5日から施行し、平成22年4月1日から適用する。

附 則

この規約は、平成26年6月7日から施行し、平成26年4月1日から適用する。

附 則

この規約は、平成27年6月6日から施行し、平成27年4月1日から適用する。

別表 (第10条関係)

地区自治会連合会加入世帯数	委員定数(人)		
	均等割	世帯割	合計
5,000世帯未満	3	1	4
5,000世帯以上10,000世帯未満	3	2	5
10,000世帯以上15,000世帯未満	3	3	6
15,000世帯以上	3	4	7